

研究課題名：心臓血管外科術後患者の早期離床がADLと運動耐容能に与える影響

所属（診療科）：リハビリテーション科 理学療法士

研究責任者（職名）：相馬 奨太

研究機関：倫理委員会承認後より 2021年1月1日まで

研究目的と意義：急性期病院における理学療法の在り方は、ここ数年で大きく変化し、近年では病棟や他部門との連携を密にとるために、病棟専任制の体制にてリハビリテーションが提供されるようになった。当院においても、2017年9月より、集中治療室（Intensive Care Unit 以下、ICU）での病棟専任制の導入を開始した。本邦における先行研究では、心臓血管外科術後のリハビリテーションの進行に関する報告は散見されるものの、ICU専任体制での心臓血管外科術後リハビリテーションの報告は少ない。我々が行った事前研究では、歩行開始日、100m・200m歩行開始日が、ICUにPT専任後で短縮していた。本研究では、その長期的な結果を検証すること、早期離床が図れたことでADLと運動耐容能にどの程度影響が生じているか検討することが目的である。

研究内容：

●対象となる患者さん：横須賀市立うわまち病院特定集中治療室に入室され、リハビリテーションを行った心臓血管外科術後の患者さん

●利用する情報：入院中の過去のデータのみを研究利用する。

資料：年齢、性別、病名、手術名、手術日、合併症の有無と既往歴、緊急 or 待機的手術、基本情報（身長、体重など）、血液データ、薬剤の使用の有無、せん妄スケール、心肺運動負荷試験の結果、リハビリ介入日、人口呼吸器管理期間、ICU退室日、退院日、リハビリ実施単位数、椅子座位開始日、歩行開始日、歩行獲得日、入院前後移所

●研究方法：本研究は、横須賀市立うわまち病院リハビリテーション科が行う後方視的調査研究である。調査データは、連結可能匿名化により、個人情報の管理をする。

問い合わせ先：研究担当者

氏名：相馬 奨太

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）